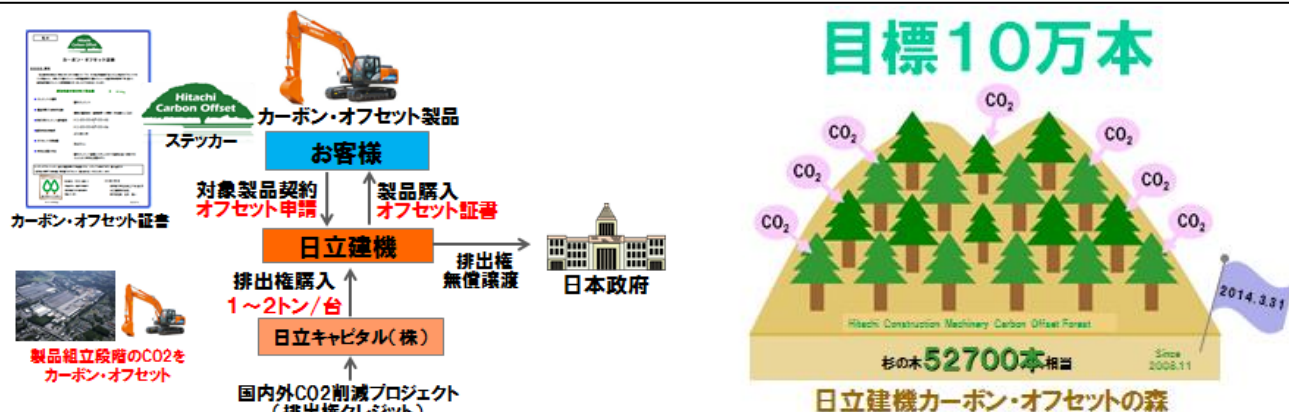


日立建機株式会社

カーボン・オフセットをお客様とともに

地球環境に、より貢献できる製品のカーボン・オフセットを実施



取組の概要

環境に配慮した製品開発の環境価値を高め、ステークホルダーとの環境協働を行うためにカーボン・オフセット活動を開始しました。カーボン・オフセットは日立建機のカーボン・オフセット活動ポリシーに従い、地球温暖化防止効果が大きく、さらに日本政府の国民運動とコラボレーションできる製品として林業機械、ハイブリッドショベル、電動式油圧ショベル、情報化施工機械を対象機種として定め、製品組立時のCO2をオフセット対象とした。

オフセットの分類	商品・サービス型	認証取得(制度名)	—
取組の実施時期	2008年11月～(継続中)		
クレジット	クレジットの種類	①国内クレジット、②CER	
	プロジェクトの種類	排出削減系	
	プロジェクトの名称	①電動式建設機械・産業車両への更新、 ② ブラジルサンパウロ州パウリニア市N20排出削減プロジェクト	
	プロジェクト実施地	①埼玉県、②ブラジル	
オフセット量	①167tCO2、②518tCO2、合計:685tCO2		
無効化日	その都度		
販売数、参加者数等	販売数: 4機種で計554台		
価格、参加費、クレジット費用の負担	日立建機がクレジット費用を負担		
オフセット・プロバイダー	日立キャピタル(株)		

オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力
製品製造段階で発生するCO2排出量をカーボン・オフセットの対象範囲とした。製品組立段階での電力量は電力会社の「電気ご使用量のお知らせ」データにより、CO2排出量を保守的に算出した。	日立建機グループでは製品ライフサイクル全体でCO2を削減する活動を建設機械メーカーの社会的使命と考え、活動に取り組んでいる。生産拠点の省エネ化やゼロエミッション化はもちろんのこと、製品の素材、運搬、販売、稼働、廃棄にいたる製品ライフサイクル全般でCO2削減貢献度の高い「環境適合製品」の開発と販売を拡大する取り組みを積極的に展開している。
取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点
①商品の差別化が図れた ②カーボン・オフセットに関する関係者の理解が深まった。	お客様のカーボン・オフセット活動を地域と社会に認知してもらうため、パンフレットの作成、カーボン・オフセット証書の発行、カーボン・オフセットステッカーの貼付、展示会でのPRなどを手掛けてきた。

【問い合わせ先】 日立建機株式会社 担当:金 麗花	TEL: 029-832-8253 Email: r.kin.nc@hitachi-kenki.com ウェブページ: http://www.hitachi-kenki.co.jp/environment/vision/plan/carbon_offset.html http://www.hitachi-c-m.com/global/jp/company/csr/environment/warming/13113carbon_offset/index.html
---------------------------------	--